

※受理年月日	年 月 日
※受理番号	
※備考	

## 大規模小売店舗届出書

令和8年5月22日

三重県知事 様

名 称：株式会社コスモス薬品  
代表者名：代表取締役 横山 英昭  
住 所：福岡市博多区博多駅東二丁目 10 番 1 号

大規模小売店舗立地法第5条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

### 記

#### 1 大規模小売店舗の名称及び所在地

名 称：ドラッグコスモス鈴鹿高岡店  
所在地：三重県鈴鹿市一ノ宮町 690-1 他

#### 2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

氏名又は名称	住所	代表者の氏名
株式会社コスモス薬品	福岡市博多区博多駅東二丁目 10 番 1 号	代表取締役 横山 英昭

#### 3 大規模小売店舗の新設をする年月日

令和9年1月23日

#### 4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計

1,340 m<sup>2</sup>

## 5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

### (1) 駐車場の位置及び収容台数

	位置	収容台数	駐車場の種類	入出庫ゲート
駐車場	敷地西側、北側	46台	自走式建物外平面駐車場	無し
合計		46台		

(参考) 指針必要駐車台数=45台 (充足率=102%)

### (2) 駐輪場の位置及び収容台数

	位置	収容台数	備考
駐輪場	敷地西側	20台	平面式、2.0m×0.5m
合計		20台	

(参考) 計画店舗の必要駐輪場台数は、既存店舗(ドラッグコスモス伊勢小木店)における駐輪場滞留台数の実態調査結果及び過去1年間のレジ通過客数実績値を用いて算出しました(別添資料)。

その結果、基準となる駐輪場台数は7台となります。これに、安全率1.1を掛けた数値が、計画店舗の必要駐輪場台数(8台)となります。計画店舗の駐輪場収容台数は20台分を確保する計画であり、不足が生じることは無いと考えます。

### (3) 荷さばき施設の位置及び面積

	位置	面積
荷さばき施設	建物西側	40 m <sup>2</sup>
合計		40 m <sup>2</sup>

### (4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

	位置	容量
廃棄物保管施設①	建物内南側	5.1 m <sup>3</sup>
廃棄物保管施設②	建物内南側	11.4 m <sup>3</sup>
合計		16.5 m <sup>3</sup>

## 6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

### (1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

小売業者	開店時刻	閉店時刻
株式会社コスモス薬品	午前9時	午後9時45分

### (2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

	駐車可能時間帯	備 考
駐車場	午前8時30分から午後10時まで	午後10時以降、チェーン等により駐車場出入口を施錠します。

### (3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

	出入口の数	位 置
駐車場	3箇所	別添「建物配置図兼平面図」参照
合 計	3箇所	

### (4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

	荷さばき可能時間帯
荷さばき施設	午前6時から午後10時まで

## 添付書類関係

### 1 法人にあってはその登記事項証明書

別添のとおり

### 2 主として販売する物品の種類

小売業者名	主として販売する物品の種類	備考
株式会社コスモス薬品	医薬品、化粧品、食品等	

### 3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

- (1) 建物配置図 別添「建物配置図兼平面図」のとおり
- (2) 各階平面図 別添「建物配置図兼平面図」のとおり

### 4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

#### (1) 必要駐車台数の算出根拠（指針による計算の場合）

項目		各項目算出のための計算式等
行政人口	194,451 人	鈴鹿市(令和7年10月31日 住民基本台帳)
用途地域	その他地区	用途地域：準工業地域
S：店舗面積	1,340 千㎡	
A：店舗面積当たり日来店客数原単位	1,060 人/千㎡	人口 40 万人未満、店舗面積 5 千㎡未満
B：ピーク率	14.4%	定数
L：駅からの距離	駅から約 1,200m	J R 関西本線・伊勢鉄道 河原田駅
C：自動車分担率	70.0%	その他地区、人口 10 万人以上 40 万人未満
D：平均乗車人員	2.00 人/台	店舗面積：10 千㎡未満
E：平均駐車時間係数	0.623	店舗面積：10 千㎡未満
①必要な駐車台数	45 台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$
②届出の駐車台数	46 台	
③充足率	102.2%	$② \div ①$

#### (2) その他の駐車場の状況

##### 従業員等（業務用を含む）駐車場

区分	設置台数	必要台数	必要台数根拠等	来客駐車場と共用・別途の別
従業員駐車場	9 台	9 台	従業員数延べ 30 人程度 (パート、アルバイト含む)	別途

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 駐車場の自動車の出入口の形式

発券ブースのない出入口のため省略

(2) 来客の自動車の方向別台数の予測の結果

ア 現状の平日、休日の交通量調査の結果

調査年月日	平日：令和8年3月9日（月）8:00～23:00 休日：令和8年3月8日（日）8:00～23:00
調査場所	下図参照
調査の委託先	泉州繊維産業株式会社
調査方法	カウンター使用による計測
調査結果	別添資料『交通処理検討報告書』参照

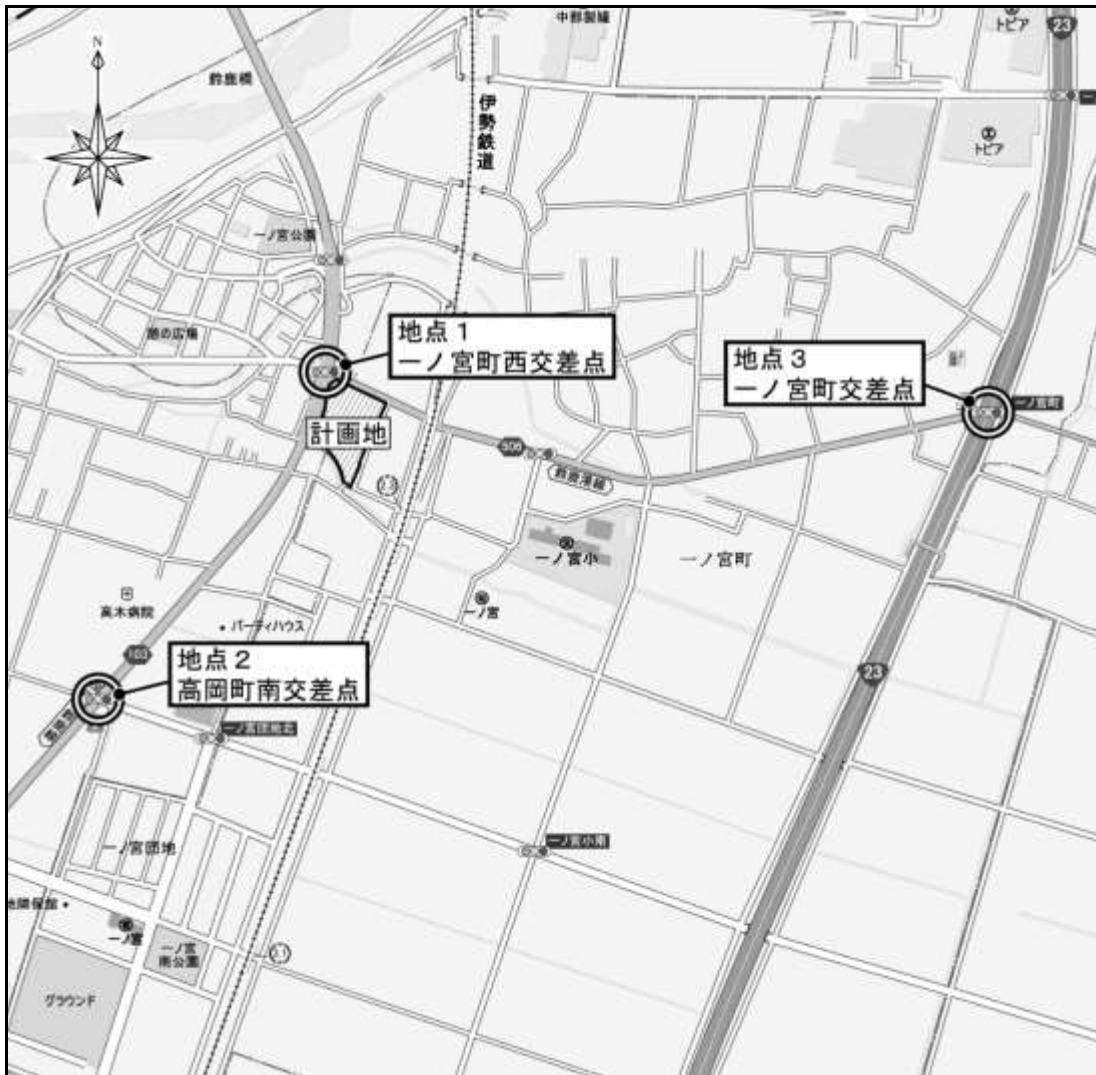


図 交通量調査地点位置図

## イ 開店後の道路の交通量の予測の結果

予測方法	指針に基づいてピーク時の来店客車両台数を算出
予測の根拠	大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針 (平成19年2月1日経済産業省告示16号)
予測結果	p. 添3~4 参照

### <交差点需要率・交通容量比>

交差点名		平日：一ノ宮町西交差点 【ピーク時：17時】					
流入部		北		南		西	東
車線の種類		左直	右折	左直	右折	左直右	左直右
現況	交通量	681	12	355	63	51	163
	容量比	0.508	0.013	0.246	0.088	0.138	0.444
	需要率	0.459					
将来	交通量	717	12	355	63	54	202
	容量比	0.533	0.013	0.246	0.092	0.146	0.546
	需要率	0.497					

交差点名		休日：一ノ宮町西交差点 【ピーク時：11時】					
流入部		北		南		西	東
車線の種類		左直	右折	左直	右折	左直右	左直右
現況	交通量	672	6	488	33	41	134
	容量比	0.483	0.008	0.338	0.048	0.106	0.357
	需要率	0.423					
将来	交通量	708	6	488	33	44	173
	容量比	0.508	0.008	0.338	0.050	0.114	0.459
	需要率	0.462					

交差点名		平日：高岡町南交差点 【ピーク時：17時】					
流入部		北		南		西	東
車線の種類		左直	右折	左直	右折	左直右	左直右
現況	交通量	622	3	476	140	4	177
	容量比	0.460	0.004	0.333	0.190	0.010	0.463
	需要率	0.428					
将来	交通量	637	3	488	140	4	180
	容量比	0.471	0.004	0.341	0.193	0.010	0.471
	需要率	0.438					

交差点名		休日：高岡町南交差点 【ピーク時：11時】					
流入部		北		南		西	東
車線の種類		左直	右折	左直	右折	左直右	左直右
現況	交通量	443	3	356	115	8	125
	容量比	0.319	0.003	0.248	0.133	0.019	0.331
	需要率	0.298					
将来	交通量	458	3	368	115	8	128
	容量比	0.330	0.003	0.256	0.135	0.019	0.338
	需要率	0.308					

交差点名		平日：一ノ宮町交差点 【ピーク時：17時】										
流入部		北			南			西	東		北(側道)	南(側道)
車線の種類		左直	直進	右折	左直	直進	右折	左直右	左直	右折	左直右	左直右
現況	交通量	740	749	54	548	569	76	252	40	7	137	5
	容量比	0.744	0.745	0.412	0.568	0.568	0.567	0.565	0.092	0.016	0.725	0.031
	需要率	0.604										
将来	交通量	740	749	54	548	569	76	263	51	7	137	5
	容量比	0.744	0.745	0.412	0.568	0.568	0.567	0.598	0.114	0.016	0.725	0.031
	需要率	0.612										

交差点名		休日：一ノ宮町交差点 【ピーク時：12時】										
流入部		北			南			西	東		北(側道)	南(側道)
車線の種類		左直	直進	右折	左直	直進	右折	左直右	左直	右折	左直右	左直右
現況	交通量	658	661	48	786	805	48	174	42	15	40	1
	容量比	0.647	0.647	0.358	0.785	0.785	0.358	0.408	0.093	0.032	0.200	0.007
	需要率	0.527										
将来	交通量	658	661	48	786	805	48	185	53	15	40	1
	容量比	0.647	0.647	0.358	0.785	0.785	0.358	0.436	0.115	0.033	0.200	0.007
	需要率	0.533										

### (3) 敷地周辺の道路の状況

道路番号	①	②	③
道路名称	県道四日市鈴鹿線	県道鈴鹿港線	市道一ノ宮 88 号線
車線	片側 1 車線	片側 1 車線	—
道路幅員	約 16.0m	約 8.4m	約 5.6m
交通規制	—	—	—
歩道幅員等	東側：約 2.7m 西側：約 2.7m	なし	なし
通学路指定	なし	なし	なし
バス路線	なし	なし	なし

※ 道路番号及び道路名称並びに通学路の位置は周辺見取図に記載のとおり

## 6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

### (1) 周辺見取図に来客の自動車の案内経路を表示した図面

別添、各「想定する案内経路と方面別交通量」のとおり

7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

(同時作業可能台数=1台)

時間帯	到着台数 (計)	種類別台数				荷さばき 所要時間
		2t未満	2~4t	8t	10t以上	
6:00~7:00	1		1			15分
7:00~8:00						—
8:00~9:00	1				1	20分
9:00~10:00						—
10:00~11:00						—
11:00~12:00						—
12:00~13:00						—
13:00~14:00	1		1			15分
14:00~15:00						—
15:00~16:00	1		1			15分
16:00~17:00						—
17:00~18:00						—
18:00~19:00						—
19:00~20:00						—
20:00~21:00						—
21:00~22:00	1		1			15分
合計	5		4		1	—
平均処理時間/台			15分		20分	—

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁の有無	高さ	備考(位置・材質等)
無	—	

9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

項目	設置の有無	稼働時間帯	位置
空調用室外機	有	8:30 ~ 22:00	別添「騒音発生源位置図」 音源 No. AC1~AC12
冷凍庫用室外機	有	24時間	別添「騒音発生源位置図」 音源 No. RC1~RC5
換気ファン	有	8:30 ~ 22:00	別添「騒音発生源位置図」 音源 No. F1~F9, F12, F15, F17~F21
換気ファン	有	24時間	別添「騒音発生源位置図」 音源 No. F10, F11, F13, F14, F16
キュービクル	有	24時間	別添「騒音発生源位置図」 音源 No. CU1

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

(1) 昼間の等価騒音レベルの予測結果(算出根拠は別添資料参照)

予測地点	A	B	C	D
地域の類型	C	C	B	B
環境基準(dB)	60	60	55	55
予測値(dB)GL=1.2m	43.7	47.5	48.7	42.2

(2) 夜間の等価騒音レベルの予測結果(算出根拠は別添資料参照)

予測地点	A	B	C	D
地域の類型	C	C	B	B
環境基準(dB)	50	50	45	45
予測値(dB)GL=1.2m	30.2	39.3	36.5	30.5

11 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及び算出根拠

予測地点	音源名称	音源番号	発生回数 (継続時間)	敷地境界での 騒音レベル(dB)	規制基準 (dB)
a	冷凍庫用室外機	RC2	28,800 秒	27.2	55
b	冷凍庫用室外機	RC2	28,800 秒	36.9	55
c	冷凍庫用室外機	RC5	28,800 秒	34.1	55
d	冷凍庫用室外機	RC4	28,800 秒	30.1	55

12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

廃棄物等の排出量等の予測

廃棄物保管施設①、廃棄物保管施設②

(端数処理：四捨五入)

廃棄物種別	店舗面積：S		1日当たりの廃棄物等の排出予測量：A (指針原単位×S)	平均保管日数：B	見かけ比重：C (t/m <sup>3</sup> )	排出予測量 A×B÷C	届出容量
紙製 廃棄物等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.340 千m <sup>2</sup>	( 0.279 t )	1.0 日	0.10	2.79 m <sup>3</sup>	5.7 m <sup>3</sup>
	6,000m <sup>2</sup> 超の部分	—	—				
			計 0.279 t				
金属製 廃棄物等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.340 千m <sup>2</sup>	( 0.009 t )	1.0 日	0.10	0.09 m <sup>3</sup>	1.2 m <sup>3</sup>
	6,000m <sup>2</sup> 超の部分	—	—				
			計 0.009 t				
ガラス製 廃棄物等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.340 千m <sup>2</sup>	( 0.008 t )	1.0 日	0.10	0.08 m <sup>3</sup>	1.2 m <sup>3</sup>
	6,000m <sup>2</sup> 超の部分	—	—				
			計 0.008 t				
プラスチック製 廃棄物等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.340 千m <sup>2</sup>	( 0.027 t )	1.0 日	0.01	2.70 m <sup>3</sup>	5.7 m <sup>3</sup>
	6,000m <sup>2</sup> 超の部分	—	—				
			計 0.027 t				
生ごみ等	6,000m <sup>2</sup> 以下の部分	1.340 千m <sup>2</sup>	( 0.226 t )	1.0 日	0.55	0.41 m <sup>3</sup>	1.5 m <sup>3</sup>
	6,000m <sup>2</sup> 超の部分	—	—				
			計 0.226 t				
その他の 可燃性 廃棄物等	1.340 千m <sup>2</sup>		0.072 t	1.0 日	0.38	0.19 m <sup>3</sup>	1.2 m <sup>3</sup>
合 計						6.26 m <sup>3</sup>	16.5 m <sup>3</sup>

## 指針配慮事項

### 1 駐車需要の充足その他による大規模小売店舗の周辺の地域の住民の利便及び商業その他の利便の確保のために配慮すべき事項

#### (1) 駐車需要の充足等交通に係る事項

##### ① 駐車場の必要台数の確保

届出収容台数 (A)	>	指針必要駐車台数 (B)
46 台		45 台

充足率  $((A \div B) \times 100) = 102.2\%$

##### ② 駐車場の位置及び構造等

#### イ 効率的な駐車場形式の選択及び駐車場の出入口の数、位置

項 目	具体的な配慮内容
駐車場の自動車の出入口の数	3 箇所
駐車場の自動車の出入口の位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>出入口①（入口専用）は交差点から約 11m 離れた位置に設定。</li> <li>出入口②は交差点から約 45m 離れた位置に設定。</li> <li>出入口③は交差点から約 7m 離れた位置に設定。</li> </ul>
入出庫ゲートの有無	無
右折入出庫の有無	<ul style="list-style-type: none"> <li>出入口①（入口専用）：無</li> <li>出入口②③：有</li> </ul>
排気ガスへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまに対して、掲示板等でアイドリングストップを呼びかけます。</li> </ul>
円滑な入出庫等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープン時や繁忙時には、駐車場出入口に交通整理員を配置し、車両のスムーズな入出庫に努めます。</li> </ul>

#### ロ 駐車待ちスペースの確保

発券ブースのない出入口のため省略

#### ハ 駐車場の分散確保

該当なし

#### ニ 駐車場出入口における交通整理

項 目	具体的な配慮内容
来客誘導及び交通整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープン時や繁忙時には、駐車場出入口に交通整理員を配置し、車両のスムーズな入出庫や近隣の違法駐車抑制に努めます。</li> </ul> 配置場所：駐車場出入口 配置人数：各 1 人
近隣の違法駐車抑止	

### ③ 駐輪場の確保等

#### イ 必要駐輪台数算出根拠

指針参考式(店舗面積  $1,340 \text{ m}^2 \div 35 \text{ m}^2$ )との比較

届出収容台数 (A)	<	指針参考台数 (B)
20 台		38 台

(設置者の考え方)

計画店舗の必要駐輪場台数は、既存店舗（ドラッグコスモス伊勢小木店）における駐輪場滞留台数の実態調査結果及び過去 1 年間のレジ通過客数実績値を用いて算出しました(別添資料)。

その結果、基準となる駐輪場台数は 7 台となります。これに、安全率 1.1 を掛けた数値が、計画店舗の必要駐輪場台数(8 台)となります。計画店舗の駐輪場収容台数は 20 台分を確保する計画であり、不足が生じることは無いと考えます。

#### ロ 駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場	構造	収容台数	面積	駐輪区画の大きさ
駐輪場	平面式	20 台	20 $\text{m}^2$	2.0m×0.5m
合 計		20 台	20 $\text{m}^2$	

#### ハ 駐輪場の管理体制等の配慮事項

項 目	具体的な配慮内容
駐輪場の利用効率向上	・ 来客者の利便性を考慮し、店舗入口の近くと駐車場出入口の近くに駐輪場を分散して配置します。
駐輪場の整理及び放置自転車抑制	・ 駐輪場は、従業員等によって適宜整理します。
駐輪場案内の表示方法	・ 敷地内に駐輪案内看板を設置します。
営業時間外の管理	・ 営業時間外は店舗関係者以外の立ち入りを禁止し、24 時間撮影の防犯カメラを設置します。

#### ④ 荷さばき施設の整備等

##### イ 荷さばき施設の面積、構造、処理能力等

###### a 面積、構造

荷さばき施設	同時作業の可能な台数		待機スペースの有無・広さ	平均処理時間	処理可能台数/時間	防音対策
	車両の大きさ	台数				
荷さばき施設	2～4t	1台	無	15分	4台	・荷さばき施設は十分なスペースを確保し、荷さばき時間の短縮に配慮します。
	10t			20分	3台	

###### b 処理能力

荷さばき施設	1時間あたりの荷さばき処理能力		ピーク時荷さばき車両数
荷さばき施設	3～4台	>	1台

###### c 荷さばき専用出入口の数

荷さばき施設	専用出入口の有無	専用出入口の数	専用出入口が無い場合の対応
荷さばき施設	無	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業時間中の搬出入については、従業員等により安全確認を行い、来店客車両や歩行者等の通行の妨げとならないよう安全確保に努めます。</li> <li>・作業員には、一旦停止や場内徐行を厳守し、安全運転に努めるよう指導を徹底します。</li> </ul>

###### d 荷さばき施設における配慮事項

項目	具体的な配慮内容
周辺道路及び駐車場内の歩行者等の通行への配慮	・営業時間中の搬出入については、従業員等により安全確認を行い、来店客車両や歩行者等の通行の妨げとならないよう安全確保に努めます。
荷さばき車両を安全かつ円滑に駐車させ、出入りさせるための配慮	・荷さばき施設は、搬入車両が場内で転回できるよう計画しています。

##### ロ 計画的な搬出入

項目	具体的な配慮内容
周辺道路の混雑を回避または軽減するための取り組み	・配送センターから一括配送等を行うことにより、搬入車両の削減に努めます。
周辺道路等への時間待ち搬出入車両の駐車防止	・ピーク時においては、公道に影響を与えないよう搬入計画を立案します。

## ⑤ 経路の設定等

### イ 適切な経路設定・案内

項目	具体的な配慮内容
経路等に関する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープン時に配布する新聞の折り込みチラシ等に案内経路を掲載し、お客さまに周知します。</li> <li>・駐車場出入口に案内看板を設置します。</li> <li>・オープン時や多客の予想される繁忙時等には、駐車場出入口に交通整理員を配置する計画です。</li> </ul>
静穏が要求される道路への配慮 (住宅、療養施設等)	・狭隘道路や生活道路は案内経路としないよう計画します。
通学路への配慮	・駐車場出口には一旦停止の標示を行い、出庫車両の飛び出しを抑制し、一般歩行者および学童の安全確保に努めます。
狭隘な道路への配慮	・狭隘な道路を回避した来退店経路を設定します。
右折待ち渋滞対策 (来退店経路に右折を伴う場合)	特になし

#### a 開店後の交差点需要率及び交通容量比（最大値）

地点	平休	交差点需要率		交通容量比(最大値)	
		現況	将来	現況	将来
地点1	平日	0.459	0.497	0.508	0.546
	休日	0.423	0.462	0.483	0.508
地点2	平日	0.428	0.438	0.463	0.471
	休日	0.298	0.308	0.331	0.338
地点3	平日	0.604	0.612	0.745	0.745
	休日	0.527	0.533	0.785	0.785

### ロ 搬出入車両の経路の配慮

項目	具体的な配慮内容
通学路への配慮 (登下校時間帯への配慮)	・商品の搬入計画は、できる限り登下校の時間帯を避けます。
静穏が要求される道路への配慮 (住宅、療養施設等)	・ドライバーに対し、生活道路及び狭い道路への進入禁止を周知・徹底させます。
狭隘な道路への配慮	
右折待ち渋滞対策 (来退店経路に右折を伴う場合)	

### ハ 公共交通機関の駐車場の確保

該当なし

### ニ パークアンドライド等公共交通事業への協力

該当なし

## (2) 歩行者の通行の利便の確保等

項目	具体的な配慮内容
歩行者の通路確保のための対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 駐車場出口には一旦停止の標示を行い、出庫車両の飛び出しを抑制し、歩行者の安全確保に努めます。</li><li>・ 歩行者出入口を1箇所設け、敷地内には車路と区分された歩行者等の通路を設け、歩行者の安全確保に努めます。</li></ul>
適切な夜間照明設備の設置	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 駐車場内の照明は下方照射とし、防犯上必要なものを除いて営業時間終了後速やかに消灯します。</li></ul>

## (3) 廃棄物減量化及びリサイクルについての配慮

項目	具体的な配慮内容
廃棄物減量化及びリサイクル計画の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 店舗から発生するダンボール、発泡スチロール、空き缶、空き瓶等は分別保管し、リサイクル業者に引き渡します。</li></ul>
周辺住民への周知	<ul style="list-style-type: none"><li>・ お客様にご協力いただき、簡易包装を推進します。</li></ul>

## (4) 防災・防犯対策への協力

項目	具体的な配慮内容
防災協定締結の有無	無：地方公共団体などから災害時の防災対策への協力要請があった場合には協力します。
防犯カメラの設置	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 防犯カメラを設置し、防犯対策に努めます。</li></ul>
営業時間外の駐車場管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 営業時間外は駐車場出入口を施錠し、店舗関係者以外の立ち入りを禁止します。</li></ul>
青少年の非行防止の対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 営業時間中は従業員等によって適宜巡回し、不審者への声かけを行うなど、防犯対策に努めます。</li></ul>

2 騒音の発生その他による大規模小売店舗の周辺の地域の生活環境の悪化の防止のために配慮すべき事項

(1) 騒音の発生に係る事項

① 騒音問題への対応策

イ 騒音問題への一般的対策

項目	具体的な配慮内容
騒音発生源の配置に係る配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低騒音型の機器の導入に努めます。</li> <li>・定常騒音の発生源となる機器については、定期点検を行い異常騒音の発生防止に努めます。</li> </ul>
遮音壁の設置	無

ロ 荷さばき作業等大規模小売店舗の営業活動に伴う騒音への対策

a 荷さばき作業に伴う騒音対策

項目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷さばき施設は十分なスペースを確保し、荷さばき時間の短縮に配慮します。</li> </ul>
荷さばき作業の騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間帯における荷さばき作業は行いません。</li> <li>・作業員には、アイドリング・ストップを徹底する等、騒音防止意識を周知・徹底させます。</li> </ul>

b 営業宣伝活動に伴う騒音対策

項目	具体的な騒音対策の内容
BGM使用の有無	屋外に向けてのBGMを流しません。
BGMを使用する場合の配慮	—

ハ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

a 冷却塔、室外機等からの騒音

項目	有無	具体的な騒音対策の内容
冷却塔	無	設置なし
冷凍庫用室外機	有	低騒音型の機器の導入に努めます。 防振ゴム等の設置により、ガタツキ音を防止
空調用室外機	有	低騒音型の機器の導入に努めます。 防振ゴム等の設置により、ガタツキ音を防止
エコキュート	無	設置なし
キュービクル	有	機器は専用のボックス内に設置します。

b 給排気口等からの騒音

項目	有無	具体的な騒音対策の内容
換気ファン	有	低騒音型の機器の導入に努めます。

### c 駐車場からの騒音

項目	具体的な騒音対策の内容
施設の配置・構造面の配慮	・駐車場内は、段差の少ない舗装を行い、騒音防止に努めます。
運営面の配慮	・お客さまに対しては、掲示板等で不必要なアイドリングの禁止や場内徐行を周知します。

### d 廃棄物収集作業等に伴う騒音

項目	具体的な騒音対策の内容
廃棄物回収場所の構造等	・廃棄物は屋内で保管します。
回収時間帯	午前6時から午後10時まで
運営面の配慮	・夜間帯における収集作業は行わない計画です。 ・作業員には、アイドリング・ストップを徹底する等、騒音防止意識を周知・徹底させます。

## ② 騒音の予測・評価

### イ 予測・評価にあたっての基本的事項

#### a 騒音の種類と分類

##### 1) 定常騒音

空調用室外機、冷凍庫用室外機、換気ファン、キュービクル

##### 2) 変動騒音

車両走行音、廃棄物収集作業音、荷さばき作業に伴う後進警報ブザー、荷さばき車両のアイドリング、荷さばき台車走行音

##### 3) 衝撃騒音

荷さばき荷下ろし音、荷さばき車両のドア開閉音

### ロ 騒音の総合的な予測・評価

#### a 昼間の等価騒音レベル(単位：dB)

地点	A	B	C	D
予測値(dB)GL=1.2m	43.7	47.5	48.7	42.2
基準値(dB)	60	60	55	55
(用途地域)	準工	準工	一住	一住
(地域類型)	C	C	B	B

※ 予測の結果、全ての地点で昼間の環境基準を満足します。  
したがって、周辺住居への著しい影響はないものと考えます。

**b 夜間の等価騒音レベル(単位 : dB)**

地点	A	B	C	D
予測値(dB) GL=1.2m	30.2	39.3	36.5	30.5
基準値(dB)	50	50	45	45
(用途地域)	準工	準工	一住	一住
(地域類型)	C	C	B	B

※ 予測の結果、全ての地点で夜間の環境基準を満足します。  
したがって、周辺住居への著しい影響はないものと考えます。

**ハ 発生する騒音源ごとの予測・評価**

予測地点	騒音発生源	騒音レベル(dB)	規制基準(dB)	判定
a	冷凍庫用室外機	19~27	55	○
	換気ファン	0~12	55	○
	キュービクル	12	55	○
b	冷凍庫用室外機	28~37	55	○
	換気ファン	8~33	55	○
	キュービクル	22	55	○
c	冷凍庫用室外機	23~34	55	○
	換気ファン	7~23	55	○
	キュービクル	23	55	○
d	冷凍庫用室外機	22~30	55	○
	換気ファン	0~14	55	○
	キュービクル	16	55	○

※ 予測の結果、全ての地点で規制基準を下回ります。  
したがって、周辺住居への著しい影響はないものと考えます。

(2) 廃棄物に係る事項

① 廃棄物等の保管について

イ 保管のための施設容量の確保

廃棄物等保管施設	必要保管容量		届出保管容量
廃棄物保管施設①②	6.26 m <sup>3</sup>	<	16.5 m <sup>3</sup>
合計	6.26 m <sup>3</sup>	<	16.5 m <sup>3</sup>

ロ 廃棄物等の保管場所の位置及び構造等

廃棄物等保管施設	容量	面積	排出方法	洗浄設備の有無	冷蔵設備の有無	屋内外の別	悪臭防止対策
廃棄物保管施設①	5.1 m <sup>3</sup>	3.4 m <sup>2</sup>	業者委託	無	無	屋内	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみはポリ袋で密閉した上で保管し、周辺への廃棄物等の臭いの拡散防止に努めます。</li> <li>廃棄物保管施設の内部及び周辺は、従業員により毎日清掃を行います。</li> </ul>
廃棄物保管施設②	11.4 m <sup>3</sup>	7.6 m <sup>2</sup>	業者委託	無	無	屋内	

ハ リサイクル品（再利用対象物）保管施設の計画

容量	面積	附属設備の概要	備考	施設位置
11.4 m <sup>3</sup>	7.6 m <sup>2</sup>	無	—	別添『建物配置図兼平面図』上、廃棄物保管施設②

② 廃棄物等の運搬及び処理

種類	紙製廃棄物等	金属製廃棄物等	ガラス製廃棄物等	プラスチック製廃棄物等	生ごみ等	その他の可燃性廃棄物等
運搬方法	業者委託					
運搬の頻度	毎日					
予定業者	廃棄物の許可業者					
処理の方法	敷地外処理					
敷地内処理の場合の騒音・悪臭対策	—					
関連事業者等に対する適切な運搬及び処理の徹底方法	—					

③ 廃棄物等に関連する対応策

イ 食品加工場等計画

食品加工場はありません。

### (3) 街並みづくり等への配慮

#### ① 街並みづくりへの配慮事項

計画施設周辺の清掃等、街並みの美化に努めます。

#### ② 市町等の公的計画への協力

『鈴鹿市景観計画』の基準を遵守します。

地方公共団体等から災害時の防災対策への協力要請があった場合には協力します。

#### ③ 夜間に屋外照明・広告塔照明を設置する場合の対策

夜間照明が周辺地域への光害とならないよう周辺へ配慮した照明計画とし、防犯上必要なものを除いて営業時間終了後速やかに消灯します。

#### ④ 敷地内緑化の計画

敷地内の空きスペース等には、緑地の確保に努めます。

### (4) 地域貢献に関する事項

項 目	取り組み内容
地域づくりの取り組みへの協力	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域経済団体等の活動に対し、助言や情報提供など可能な範囲で協力します。</li><li>・地域情報誌やイベントポスターを店頭に掲示します。</li></ul>
環境対策の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・店舗周辺の清掃に努めます。</li><li>・段ボールや発泡スチロール等のリサイクルに取り組みます。</li></ul>
子ども・高齢者・障害者への配慮	<ul style="list-style-type: none"><li>・子ども、子育て家庭、高齢者、障害者等に優しい店舗づくりを目指します。</li></ul>
地域雇用確保への協力	<ul style="list-style-type: none"><li>・パートやアルバイト等の雇用については、地元採用の促進を図ります。</li></ul>

ドラッグコスモス鈴鹿高岡店における必要駐輪場台数の設定根拠

計画店舗の必要駐輪場台数は、既存店舗における駐輪場滞留台数の実態調査結果および過去1年間のレジ通過客数実績値を用いて算出しました。その結果、基準となる駐輪場台数は7台となりました。これに安全率1.1を掛けた数値が、計画店舗の必要駐輪場台数8台となります。

計画店舗の駐輪場収容台数は20台分を確保する計画であり、不足が生じることは無いと考えます。

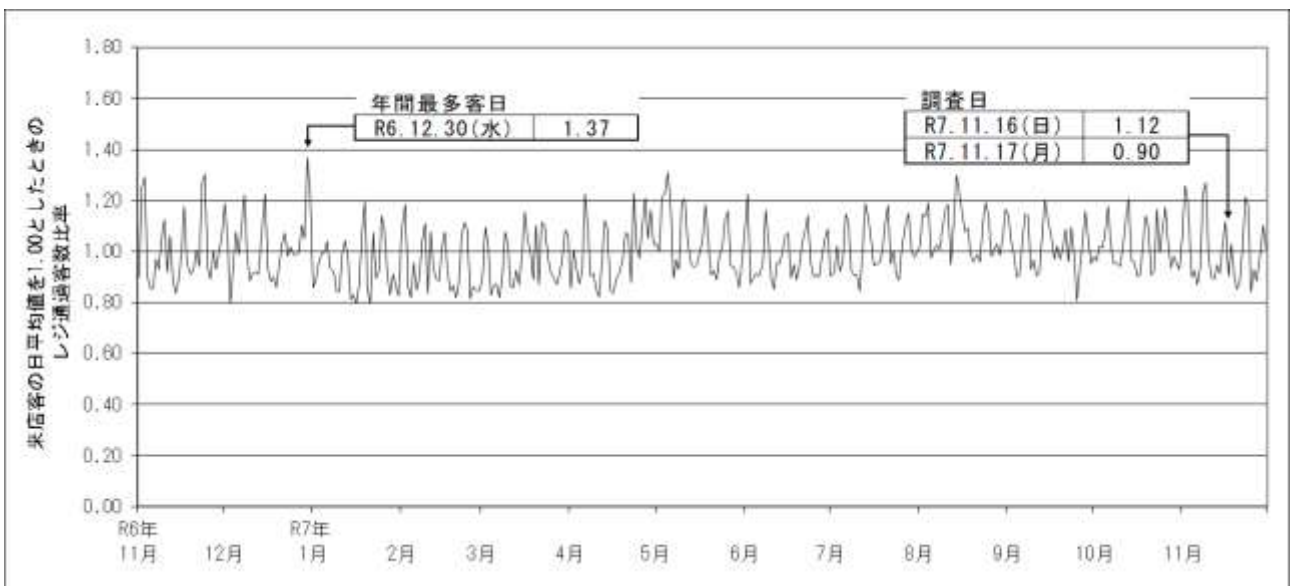
■既存店舗における駐輪場滞留台数の実態調査結果

調査場所：ドラッグコスモス伊勢小木店

時間帯	駐輪場滞留台数 [台]	
	令和7年11月16日(日)	令和7年11月17日(月)
10:00~11:00	2	1
11:00~12:00	4	3
12:00~13:00	3	3
13:00~14:00	2	2
14:00~15:00	3	3
15:00~16:00	2	4
16:00~17:00	2	3
17:00~18:00	4	3
18:00~19:00	2	1
19:00~20:00	1	0
20:00~21:00	0	2

■年間最多客日における駐輪場最大滞留台数の推計

既存店舗（ドラッグコスモス伊勢小木店）における過去1年間のレジ通過客数実績値は、下図に示すとおりです。年間最多客日におけるレジ通過客数の比率は、1.37（1年間のレジ通過客数の日平均値を1.00とした場合）でした。



既存店舗におけるレジ通過客数の経日変化

既存店舗における駐輪場滞留台数実態調査の結果、最大滞留台数は、4 台（R7. 11. 16(日)、R7. 11. 17(月)の両日とも）でした。

既存店舗における1年間のレジ通過客数データより、年間の日来客数の平均値を1としたときの実態調査日および年間最多来客日のレジ通過客数の比率は、下表に示すとおりです。

実態調査日の来客数と年間最多来客数の比率

実態調査日	a 滞留台数調査当日の レジ通過客数と 平均日来客数との比率	b 年間最多来客日における レジ通過客数と 平均日来客数との比率	c = b ÷ a 実態調査日の来客数と 年間最多来客数の比率
R7. 11. 16(日)	1. 12	1. 37	1. 223
R7. 11. 17(月)	0. 90		1. 522

また、既存店舗の店舗面積は1,548 m<sup>2</sup>、計画店舗の店舗面積は1,340 m<sup>2</sup>であり、計画店舗の店舗面積は既存店舗の約0.87倍となりますが、必要駐輪台数の算出においては安全側を見て同程度の規模の店舗としています。

そこで、当該店舗における年間最多客数日の最大滞留台数（必要収容台数）を、  
[実態調査日の最大滞留台数] × [実態調査日と年間最多来客日の来客比率]  
により計算し、

R7. 11. 16（日）：4 台 × 1. 223 ≒ 5 台

R7. 11. 17（月）：4 台 × 1. 522 ≒ 7 台

ゆえに、計画店舗の必要駐輪場台数基準値は7台と推計しました。

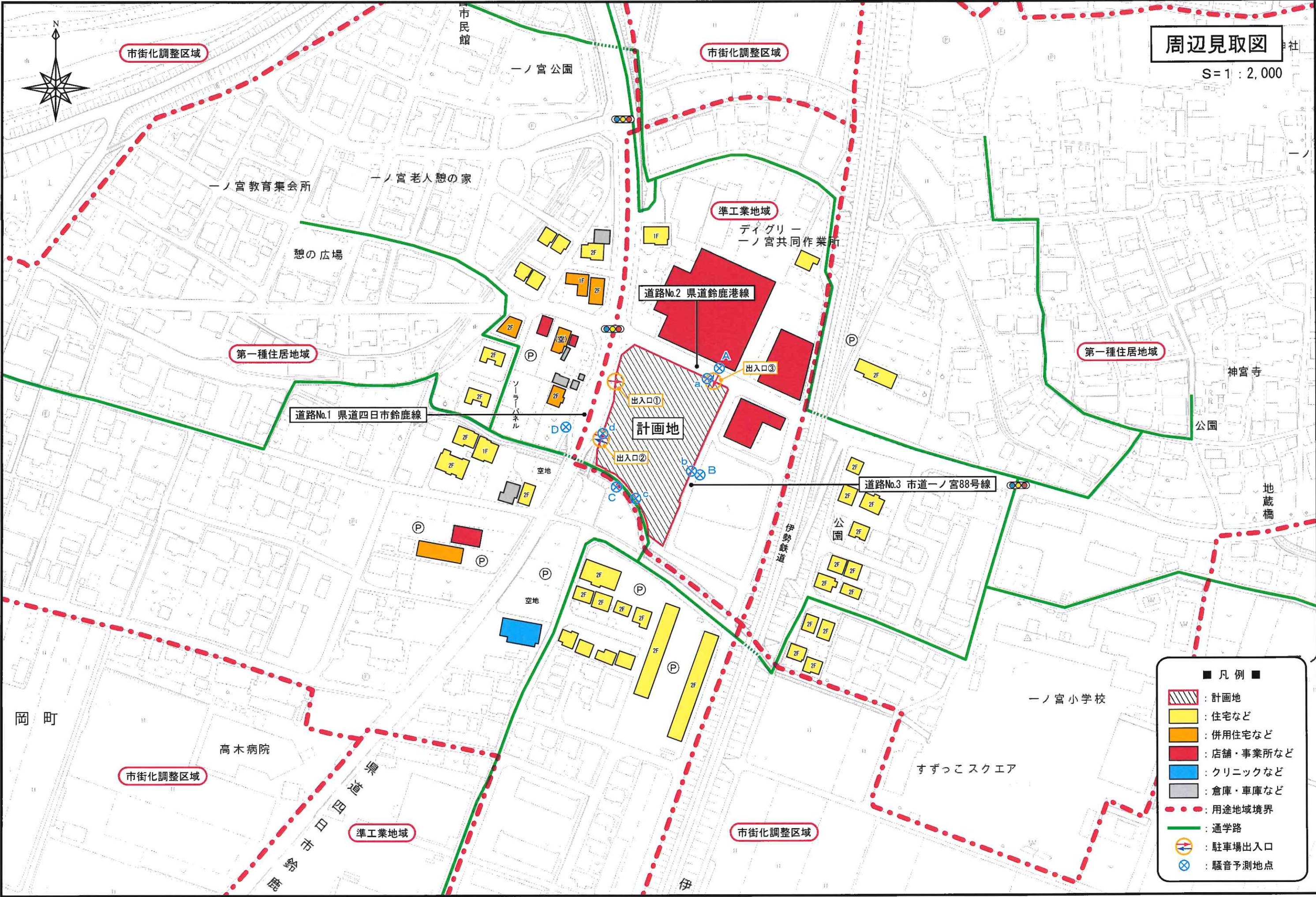
計画店舗と既存店舗の比較

名称	計画店舗 ドラッグコスモス鈴鹿高岡店	既存店舗 ドラッグコスモス伊勢小木店
所在地	三重県鈴鹿市 一ノ宮町 690-1 他	三重県伊勢市 小木町字出淵 674 番 1 他
店舗面積	1,340 m <sup>2</sup>	1,548 m <sup>2</sup>
用途地域	準工業地域	第二種住居地域
最寄駅からの距離	J R 関西本線・伊勢鉄道 河原田駅から 約 1,200m	J R 参宮線 五十鈴ヶ丘駅から 約 1,600m
1 k m 圏内の世帯数	約 1,700 世帯	約 3,000 世帯



# 周辺見取図

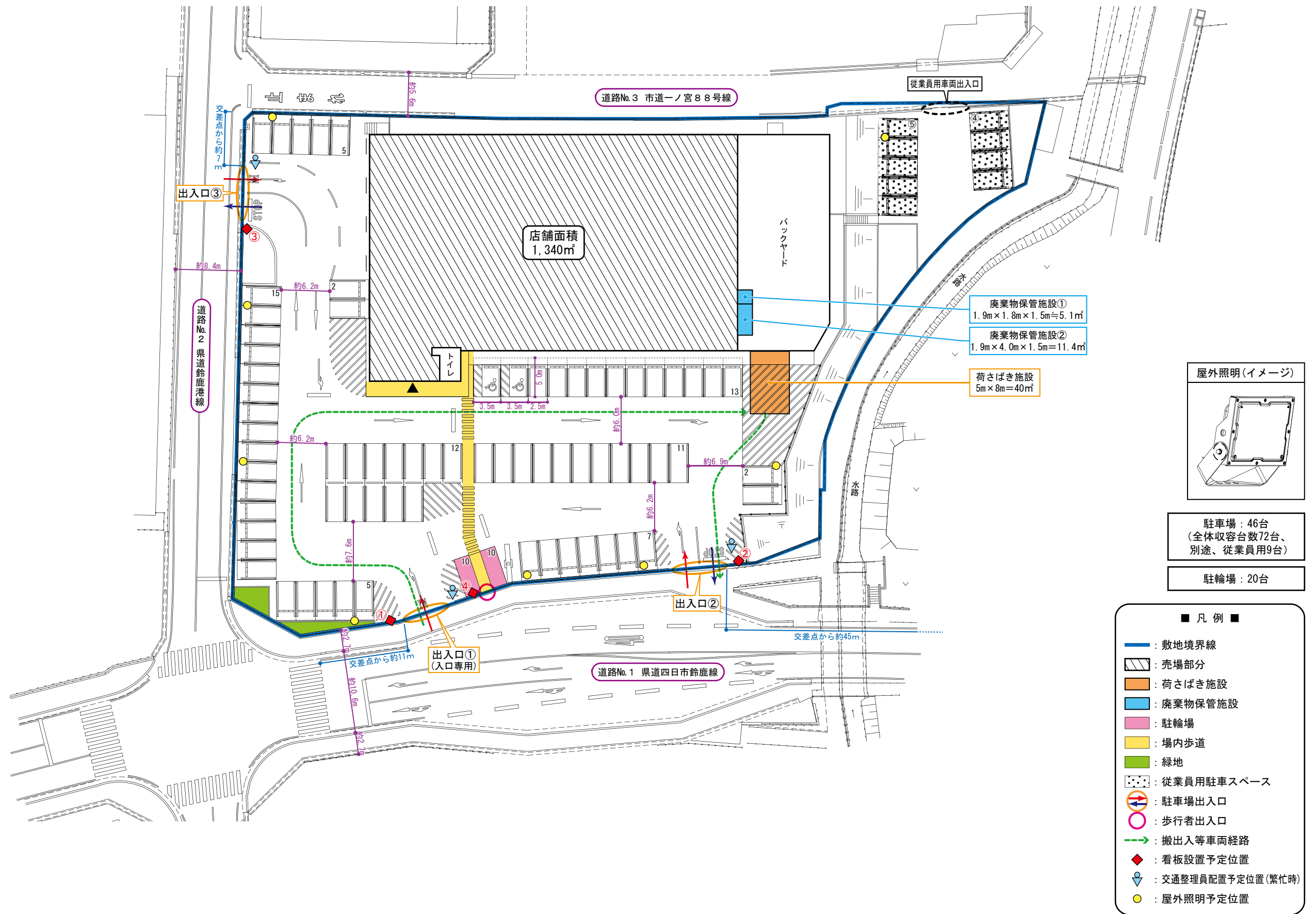
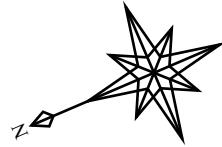
S=1:2,000



- 凡例 ■
-  : 計画地
  -  : 住宅など
  -  : 併用住宅など
  -  : 店舗・事業所など
  -  : クリニックなど
  -  : 倉庫・車庫など
  -  : 用途地域境界
  -  : 通学路
  -  : 駐車場出入口
  -  : 騒音予測地点

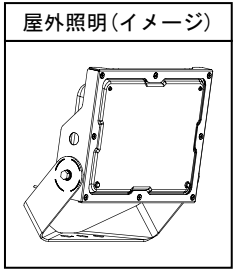
# 建物配置図兼平面図

S=1:500



<看板イメージ例>

①【北面】	【南面】
【内面】	
②【南北面】	【内面】
③【東西面】	【内面】
④【南北面】	



駐車場：46台  
(全体収容台数72台、  
別途、従業員用9台)

駐輪場：20台

■ 凡例 ■

- : 敷地境界線
- : 売場部分
- : 荷さばき施設
- : 廃棄物保管施設
- : 駐輪場
- : 場内歩道
- : 緑地
- : 従業員用駐車スペース
- : 駐車場出入口
- : 歩行者出入口
- : 搬出入等車両経路
- : 看板設置予定位置
- : 交通整理員配置予定位置(繁忙時)
- : 屋外照明予定位置

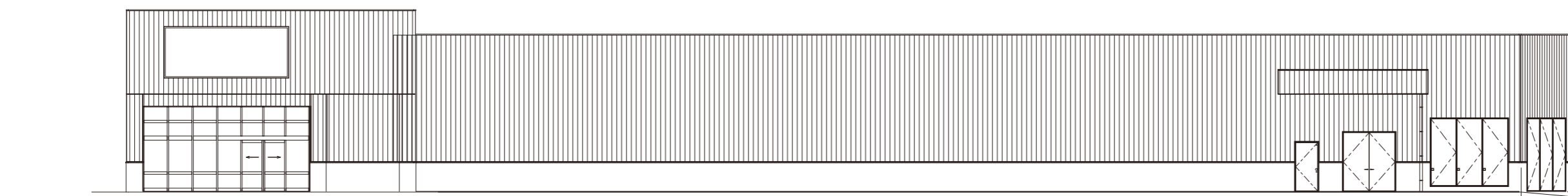
建物立面図

S=1:200

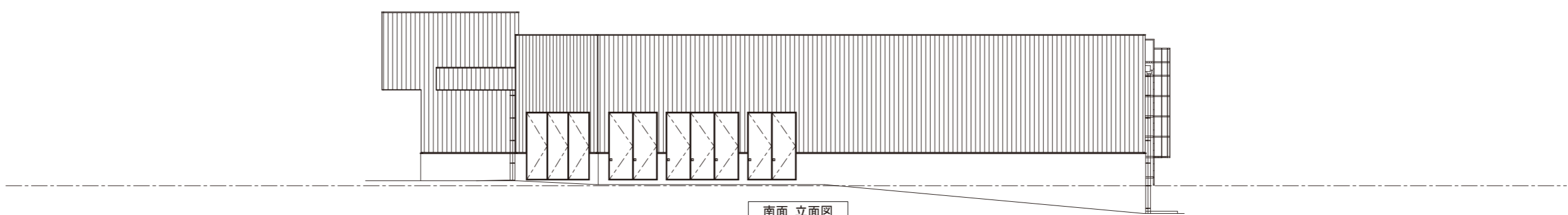
▼最高高さ



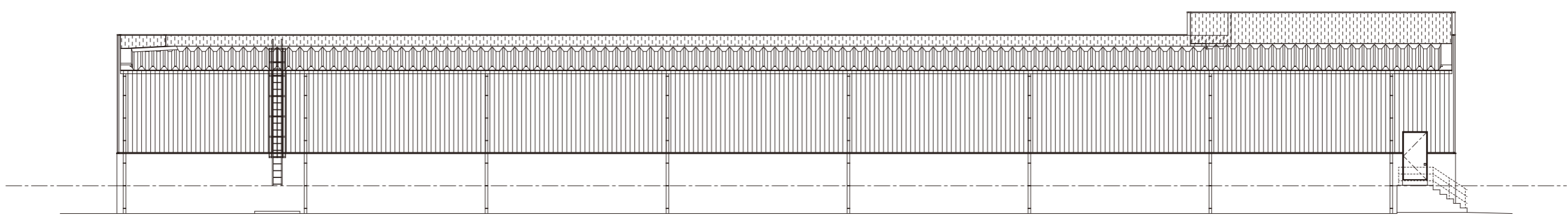
▲設計GL



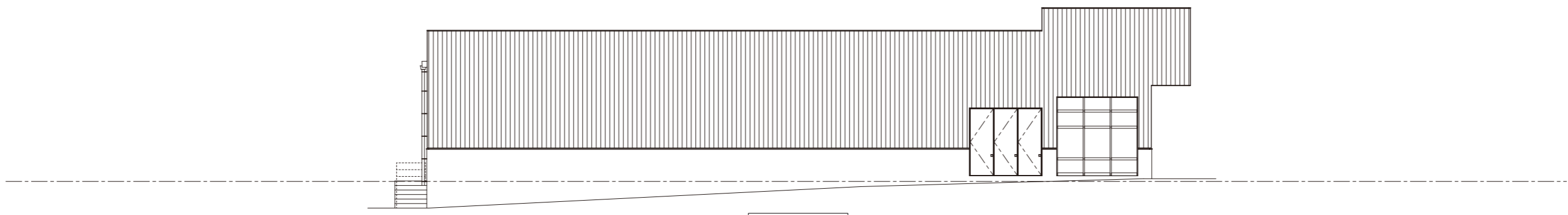
西面 立面図



南面 立面図



東面 立面図



北面 立面図

# 想定する案内経路と方面別交通量(広域)

S=1:15,000

ブロック番号	世帯数(世帯)	割合(%)	来店客車両台数	
			日台数(台/日)	ピーク時(台/時)
①	1,873	49.4	246	36
②	589	15.5	77	11
③	142	3.7	19	3
④	635	16.7	83	12
⑤	169	4.5	22	3
⑥	147	3.9	19	3
⑦	238	6.3	31	4
合計	3,793	100.0	497	72

ブロック番号①	ブロック番号①
246台/日 36台/時 49.4%	246台/日 36台/時 49.4%

ブロック番号②	ブロック番号②
77台/日 11台/時 15.5%	77台/日 11台/時 15.5%

ブロック番号⑤	ブロック番号⑤
22台/日 3台/時 4.5%	22台/日 3台/時 4.5%

ブロック番号④	ブロック番号④
83台/日 12台/時 16.7%	83台/日 12台/時 16.7%

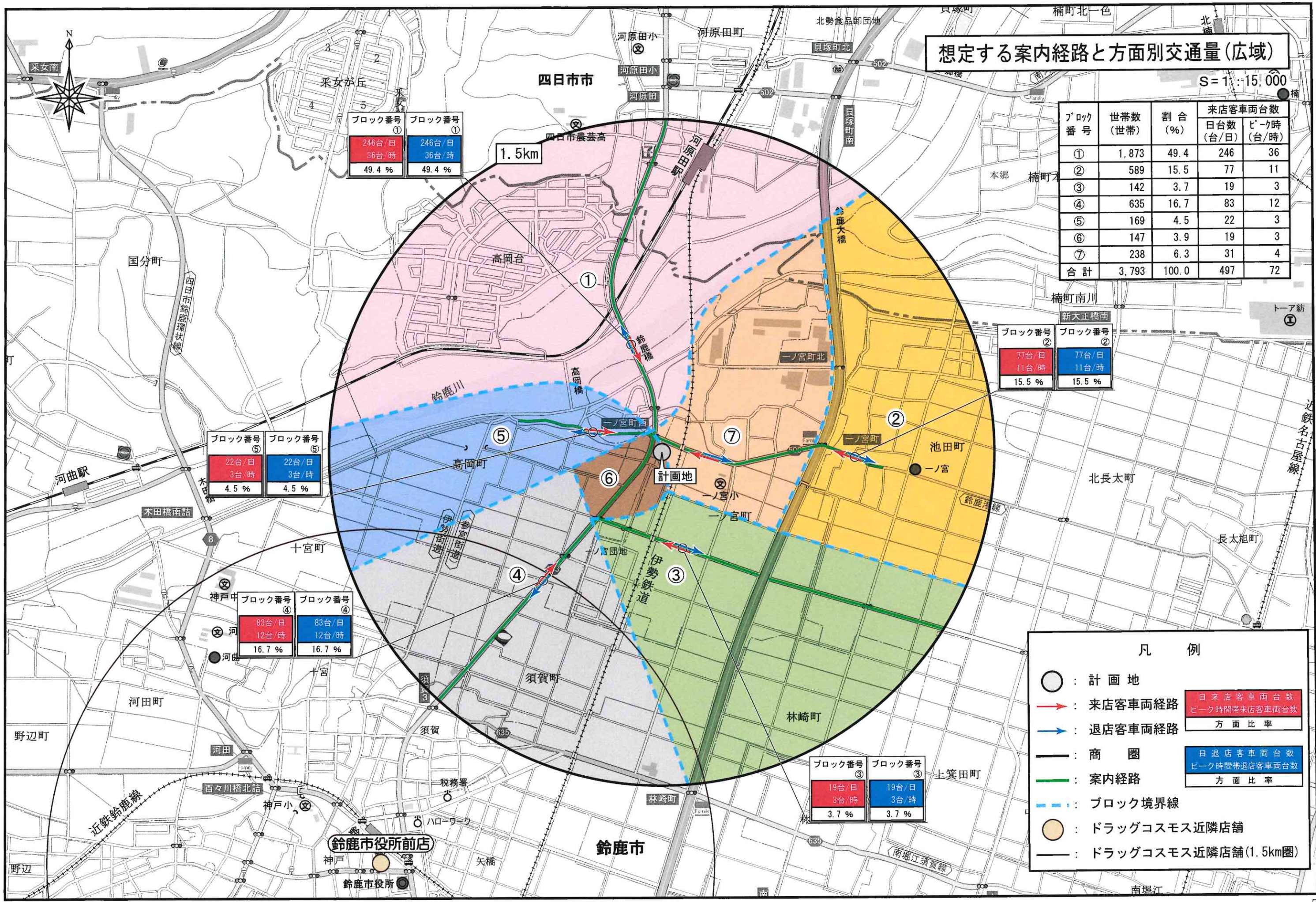
ブロック番号③	ブロック番号③
19台/日 3台/時 3.7%	19台/日 3台/時 3.7%

### 凡例

- : 計画地
- (赤) : 来店客車両経路
- (青) : 退店客車両経路
- (黒) : 商圏
- (緑) : 案内経路
- - - (青) : ブロック境界線
- (黄) : ドラッグコスモス近隣店舗
- (黒) : ドラッグコスモス近隣店舗(1.5km圏)

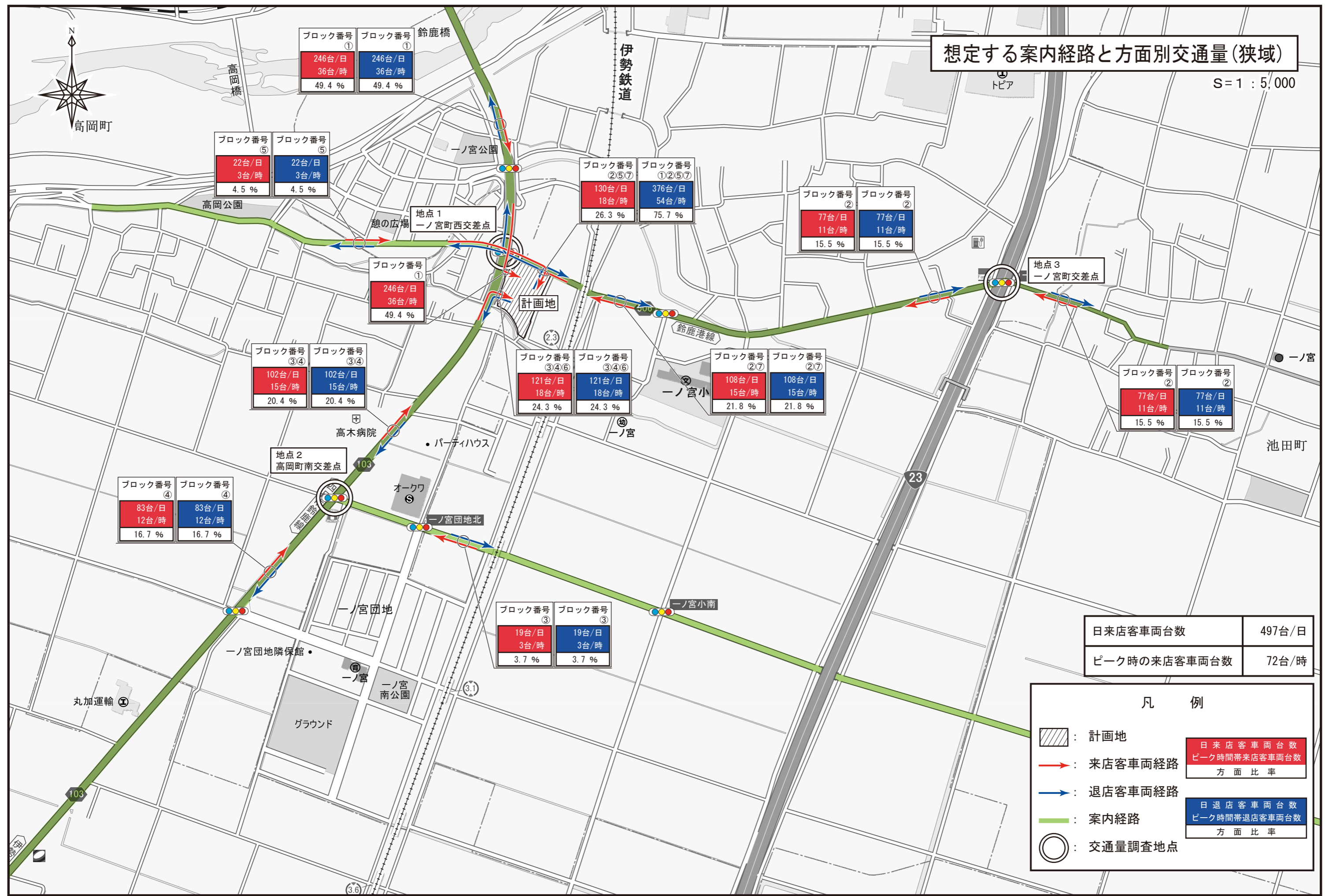
日来店客車両台数  
ピーク時間帯来店客車両台数  
方面比率

日退店客車両台数  
ピーク時間帯退店客車両台数  
方面比率



想定する案内経路と方面別交通量(狭域)

S=1:5,000



ブロック番号 ④	ブロック番号 ④
83台/日	83台/日
12台/時	12台/時
16.7 %	16.7 %

ブロック番号 ③④	ブロック番号 ③④
102台/日	102台/日
15台/時	15台/時
20.4 %	20.4 %

ブロック番号 ①	ブロック番号 ①
246台/日	246台/日
36台/時	36台/時
49.4 %	49.4 %

ブロック番号 ③	ブロック番号 ③
19台/日	19台/日
3台/時	3台/時
3.7 %	3.7 %

ブロック番号 ③④⑥	ブロック番号 ③④⑥
121台/日	121台/日
18台/時	18台/時
24.3 %	24.3 %

ブロック番号 ②⑦	ブロック番号 ②⑦
108台/日	108台/日
15台/時	15台/時
21.8 %	21.8 %

ブロック番号 ②⑤⑦	ブロック番号 ①②⑤⑦
130台/日	376台/日
18台/時	54台/時
26.3 %	75.7 %

ブロック番号 ②	ブロック番号 ②
77台/日	77台/日
11台/時	11台/時
15.5 %	15.5 %

ブロック番号 ②	ブロック番号 ②
77台/日	77台/日
11台/時	11台/時
15.5 %	15.5 %

ブロック番号 ①	ブロック番号 ①
246台/日	246台/日
36台/時	36台/時
49.4 %	49.4 %

ブロック番号 ⑤	ブロック番号 ⑤
22台/日	22台/日
3台/時	3台/時
4.5 %	4.5 %

日来店客車両台数	497台/日
ピーク時の来店客車両台数	72台/時

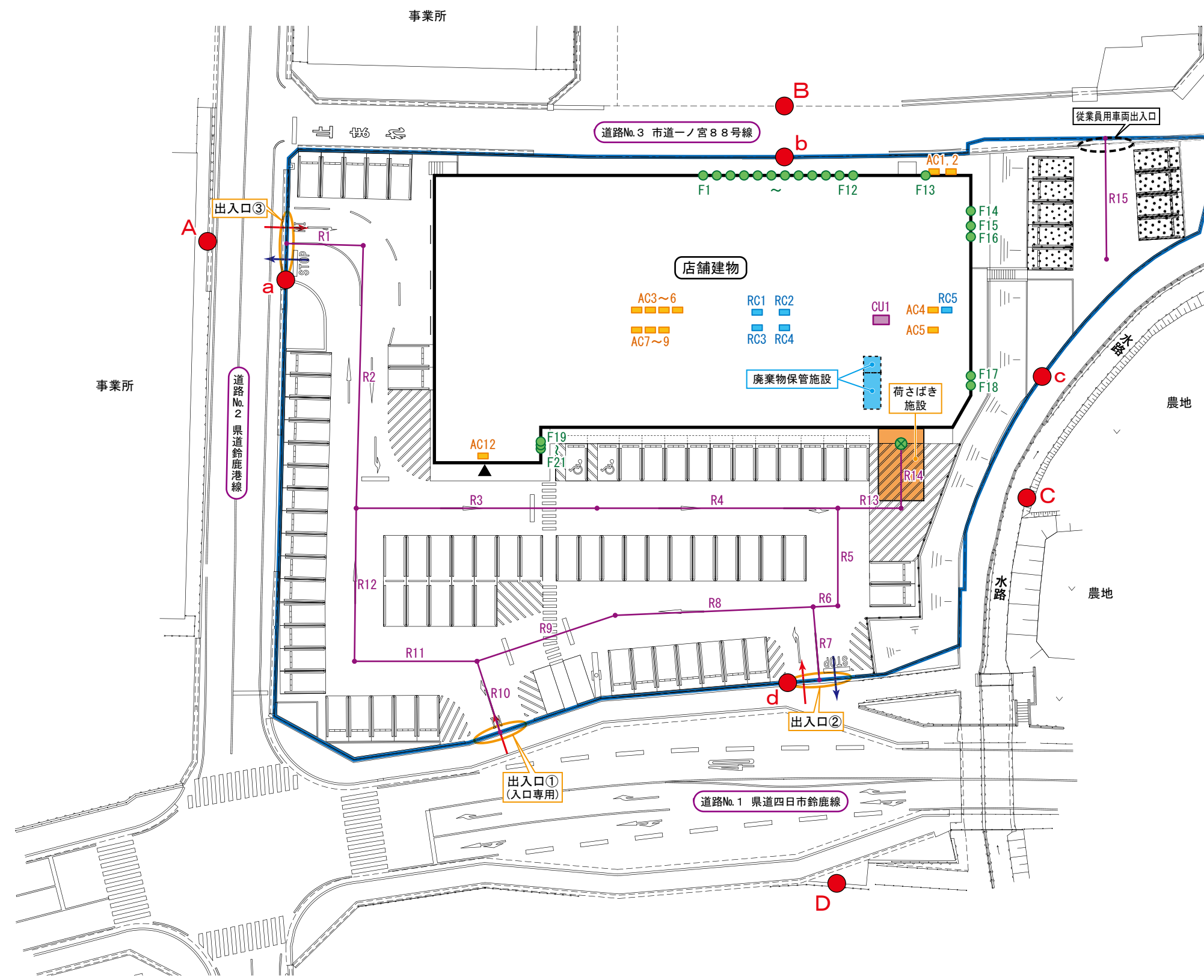
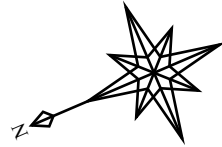
凡 例

- ▨ : 計画地
- : 来店客車両経路
- ← : 退店客車両経路
- : 案内経路
- : 交通量調査地点

日来店客車両台数	ピーク時間帯来店客車両台数	方面比率
日退店客車両台数	ピーク時間帯退店客車両台数	方面比率

# 騒音発生源位置図

S=1:500



- 凡例 ■
- : 敷地境界線
  - ↔ : 駐車場出入口
  - : 荷さばき施設
  - : 廃棄物保管施設
  - : 従業員用駐車スペース
  - : 空調用室外機
  - : 冷凍庫用室外機
  - : 換気ファン
  - : キュービクル
  - ⊗ : 荷さばき等作業位置
  - : 車両走行路
  - : 騒音予測地点